

web版

ことぶき共同診療所だより

第44号

2017年12月24日発行

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17 リバーハイツ石川町 1・2F
電話とファックス 045-651-2305(診療所) 045-305-4322(鍼灸院・資料室)

E-Mail info@kyoudouclinic.com

http://kyoudouclinic.com

発行：医療法人ことぶき共同診療所

目次

- 2017年下半期をふりかえる 鈴木 伸 ②
- デイケアなう デイケアメンバー ⑤
- 吉浜町公園愛護会、市長表彰されました 川崎 正明 ⑦
- “診療室から” (40) - 町の変化と診療所 - 橋本 等 ⑧
- 寿町関係資料室コレクション 松本 一郎 ⑨
- 【5】子ども会ぼっこ『子ども会のあゆみ』 -
- 職員自己紹介 勅使川原 香世子 ⑩
- 寿町地域ニュース・あらかると('17年6月~10月) 松本 一郎 ⑩
- 診療所日誌('17年6月~11月) 矢島 雅子 ⑪
- 共同診療所・鍼灸院ガイド ⑫



2017年下半期を ふりかえる

【はじめに】将棋とダイアログ

2017年は空前の将棋ブームとなりました。中学生史上最年少プロ棋士で29連勝を記録した藤井聡太くんのおかげが大きいのでしょう。一方「ひふみん」こと加藤一二三先生も（将棋好きの間では以前から個性的で有名な方だったのですが）大ブレイク。TV番組やCMに引っ張りだこです。私の小学生時代は、将棋の雑誌ばかりを読んでいた将棋小僧でありました。高校以降は将棋を指すことはめっきり減ってしまい最近まではもっぱら「観る将」（将棋を指さないで見るだけのファンのこと）でおりました。が、藤井君の騒動以来再び将棋を指すようになりました。最近はインターネット上で気軽に対戦できるので重宝しております。またAIの発達で今年4月には現役佐藤天彦名人がコンピュータと対戦して敗れるという歴史的な年でもあります。そのおかげでパソコンでも将棋の勉強ができるようになったのはうれしいかぎりです（藤井君もパソコンで勉強しているようです）。昔こんな環境だったら棋士を目指していたかもと夢想しております。

ところで、「将棋の魅力はなんなのか？」ということのを改めて考えてみました。勝負の行方もさることながら、盤上に繰り広げられる個性豊かな棋士同士の「対話」ではないかと思えます。特に永世7冠となった羽生善治さんの将棋に対するスタイルには素晴らしいものがあります。もし勝つこと

だけを考えるのであれば、自分の得意なスタイル、作戦にこだわればおそらく勝率も上がるのでしょう。特にタイトル戦はそうです。しかし、羽生さんはここ一番の勝負であっても、新しい可能性の方を迫及し、対戦相手と新しい「対話」をし、一局をつくりあげていくのです。判官びいきな人が多い中で羽生さんが人気なのはそうした姿勢に対する共感があるのではないかと思います。

また、今年は精神医療界も数年まえから認知されてきた「オープンダイアログ」がかなり盛り上がった年でもあります。この「オープンダイアログ」も「治療」を目指すのではなく、よりよい「対話」をおこなうことを目指すという姿勢が革新的です。というわけで私にとっての最近のキーワードは「対話」であります。

世界の情勢も分断と対立があちこちで見られるようになり、一触即発の危機的な状況に近づいている今日この頃です。こんな時こそお互いの存在や価値を尊重し、対話を行うことこそが必要になっているのではないかと感じてしまいます。

ちょっと長くなりましたが、今年の下半期を振り返ってみたいと思います。

【オープンダイアログ講習会開催しました】

現在、日本の精神医学会に大きな風が吹

いております。それは「オープンダイアログ」という風です。フィンランドでつくられたこの方法は、オープンに語り合うということ、要請があれば24時間いつでも駆けつけるということを徹底することで、入院や薬の使用を減らすことができるという驚異的な方法です。最近に関連の雑誌の特集、本の出版が相次いでおり私も本を読んで勉強はしていたのですが、ぜひその方法を体験してみたいということで、いち早く日本で実践しており八面六臂の活躍されている森川すいめい先生に、学生時代に寿司をおごったことがあるということに頼みに講師をお願いしたところ快くお引き受けいただきました。横浜のYWCAに80人近い関係者が集まり、8月6日の夏の暑いさなかにも関わらず6時間もの長丁場のワークショップを行いました。外の空気が暑い日でしたが、館内の熱気はそれ以上でした。特に当事者の家族の方からは「日本でも早くそうした治療が受けられるようにしてほしい」との切実な要望があり、そうした声に応えられるようにこれからも勉強を続けていこうと思うのでした。そして、少しずつ日常の診療のなかで生かしていきたいと思えます。

【熱心な医学生が見学にきました】

今年も夏休みを利用してIFMSA-JAPAN(国際医学生連盟)の学生さんたちが寿町のスタディーツアーに来られました。今時の学生さんらしく、フェイスブックなどで連絡を取り合い、北は北海道、南は沖縄から総勢11名の学生さんたちが現地集合で来て、寿町のはまかぜ、プラザ、アルクなどの施設見学、診療所の見学をしていただき、その

後、私が日頃寿町で働いていて感じているところをお話しさせていただきました。はるばる遠方から来たということもありモチベーションも高く、それぞれの関心領域から多くの質問が飛び交い、私も必死に答えるという状態でした。学生さんたちは診療所のプログラムのあと自主企画として「ホームレス襲撃事件に対するワークショップ」を行っておりました。私は傍から見学させていただきましたが、「ホームレスへの偏見に対してどんなことが必要で、可能か？」をめぐる熱い議論を聞いていて思わず目頭が熱くなりました。この気持ちを忘れず、将来一人でも診療所を手伝ってくれる方ができるといいなあと考えた次第です。

【「水族館劇場」がやってきた】

S49年から寿町の真ん中にそびえたち、寿町の象徴的な存在であった総合労働福祉会館(通称センター)は、老朽化に伴い建て直しが行われることになりました。職業斡旋所としての機能だけでなく、お風呂やたまり場的な福祉的機能、また、市営住宅もある当時としては斬新な複合施設でした。また、その要塞のようなたたずまいから夏祭りやフリーコンサートの会場としても使われてきました。また、かつては夜にたき火をして酒盛りをする人も多く、酔ってたき火で火傷をした人が診療所に受診というのもよく見られた風景でした。それがなくなってしまうというのは、かなり寂しいものでありますが、今年の夏は取り壊して出現した一時的な広大な広場を利用して横浜トリエンナーレの番外編「るなばあく」が出現しました。その一つの目玉企画として劇団水族館劇場によるテント芝居「この世の

ような夢」が開催されました。役者さんたちのパフォーマンス、ストーリーの迫力もさることながら、屋外芝居ならではの大量の水や火を使った演出は圧巻でした（そのほかにも興味深い講演がてんこ盛りでぜひ行きたいと思っていたのですが残念ながらいけませんでした。残念！）。

【南京虫騒動】

以前から寿町のドヤでは南京虫（トコジラミ）に悩まされるが多かったのですが、最近も南京虫にかかわるトラブルがしばしばみられます。入院が必要なレベルであっても南京虫が服にびっしりいたたために入院できなかった患者さんがいたりしたこともあり最近では入院が必要と思われる場合には虫チェックを行い、あまりにひどい場合にはお風呂に入ってもらってから入院に連れていったということもあります。また、いつまでたっても皮膚の状態が良くならない人が良く良くみると南京虫のせいであったということもしばしばで、部屋に虫が繁殖すると引っ越すしかない場合もあります。この場合は、乾燥機をかけられた服以外は持ち込まないようにしないと虫を連れて行ってしまうのでかなり神経を使います。これからも南京虫との闘いは続くと思われま

【カルテ 7000 枚達成されました】

今年の7月末、カルテ番号が7000番に到りました。診療所が1996年に開設されてからはや21年。これまで、この診療にこれだけ多くの方が来院されたのだなあと思うとともに、これからも患者さんや町のニーズにあった「敷居の低い医療」を提供していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

【田中俊夫さん追悼文集できる】

皆様のご協力のもと前院長田中俊夫さんの文集が完成しました。俊夫さんは生前、関係者がなくなると追悼文や詩を書かれていました。それは関わりのあった仲間や患者さんを大切に思っていたからなのだと思います。編集に携わった診療所資料室長の松本さんの言葉をかりれば「大切に思う田中さんに、そして寿で一途に取り組んだ田中さんに向けての追悼文を集めて、個人や運動としての関わりや思い出、足跡を共有したり、後世に伝えたいと思い」今回の文集作成に至りました。60人もの方々からの熱い語りに満ちた読み応えのある文集に仕上がりました。一読いただければ幸いです。

（鈴木 伸）

デイケアなう

トライ

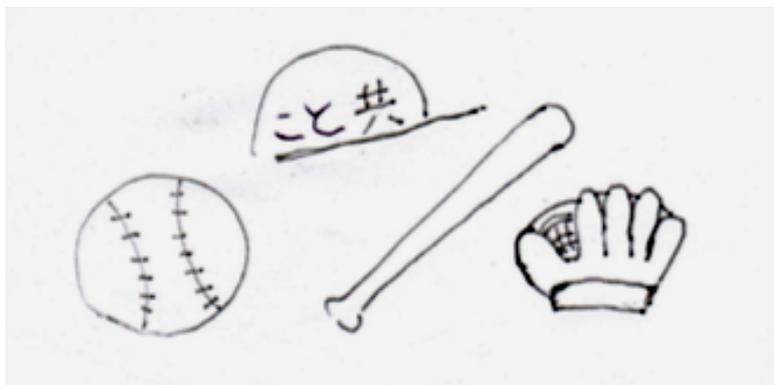
- ・自分自身を見つめ直す勉強！！（Nむら）
- ・自分は紆余曲折な人生を歩んできた一人です。トライでの内容について自分の対応や答えで過去の辛いことが少しずつでも消去できればうれしいと感じています。（Y）
- ・いろんなことを先生が教えてくれて勉強になる。（I.I）

8月の発表会

- ・ダンスをしたのが楽しかった。（U）
- ・Lプラザのトレーニングルームを借りて毎週みんなでEXダンスを練習し、発表会で楽しく踊れてすごくいい思い出になりました。（Nせ）
- ・出演者の中には仮装した人がいたので面白かった。EXダンスは他の人と合わせるのが難しかったけど、観ている人たちも喜んでくれたので良かったと思いました。（T）

ソフトボール

- ・一つのボールを皆で楽しむことが目的！！打って、走って、運動する。（Nむら）
- ・ヒットを打ててうれしかった。（S）
- ・1年前と比べて皆さん動けるようになって楽しくやっています。笑顔がとても増えて、いつも試合の時は接戦になるくらい真剣にやっています。（Nせ）



調理

- ・料理楽しい。辛いスープが好き。（Kざき）
- ・メンバー、スタッフで力を合わせて美味しい料理を頂いています。（I.K）

ハロウィン

- ・ネコ耳がかわいかった。(S.A)
- ・コスプレが面白かった。(E)



スポーツ交流

- ・卓球に出ました。負けました。楽しかったです。(Kなが)
- ・他の作業所のスタッフ、メンバーと卓球やバドミントンをして楽しく交流できた。続けてやりたい。(Nむら)
- ・相手チームの人が強い人ばかりで大変だった。(I.I)
- ・他の事業所の人たちとスポーツを通して交流できることはとても大切にしていきたいと思いますし、なかなかできない事だと感じています。(Y)

運動会

- ・綱引きが楽しかった。(S.A)
- ・久しぶりに全力で走ってみて、そのあとし疲れたけど、気持ちよかった。景品がたくさんもらえて嬉しかった。(T)
- ・徒競走で転んだことでMVPをもらったことが嬉しかった。(U)
- ・紅が負けてしまったので、来年は負けないで頑張りたいです。(I.K)

クリスマス会の練習

- ・クリスマスの時、人前で演奏できればいいと思う。(T.A)
- ・歌の練習をやっています。楽しみにしています。(Kなが)
- ・劇のストーリーを書いていたら面白くて一人で笑えるぐらい楽しい劇を作れました。出演者も9人ぐらい集まり、練習したら面白くて楽しかったです。今年のクリスマス会はとてもいい思い出になりそうです。(Nせ)

その他

- ・普段は参加できない事や気持ちを新たにできる日々を過ごしていけます。知るは楽しみです。茶道もステキ・・・(M)
- ・以前よりメンバーが若返り活気がでて雰囲気よくなった。(F)

吉浜町公園愛護会、市長表彰されました

11月10日に横浜市公園愛護会表彰式が開かれ、吉浜町公園愛護会が表彰されました。当日は川崎と芝さんが参加しました。俊夫さんが健在なら、会長10年の個人表彰を受けることが出来たのですが。

12月1日に中区公園愛護会交流会が開催され、川崎が吉浜町公園について20分話すことになっています。

私が公園に関わってから9年以上が経過しました。全面的に担当になったのは、山本さんが亡くなった2011年からですがそれでも7年たちます。メタセコイアの木も倍以上に成長しています。7年経って、あの時植えたレモンによりやく実が付きました。仕事が嫌いな伊川さんが、懸命になって掘った穴でした。来年からはたくさんの実を付ける事でしょう。

同時に植えた夏ミカンは数年前からたくさんの実を付け、熟す前にはなくなり、誰かの胃を満たしています。樹木と葉は、山本さんを記念して植えたヤマボウシを圧倒しています。

公園は、午前中保育園の園児の声でにぎやかになります。5つほどの園が吉浜町公園を運動場にしています。100人ほどの園児でも収容できるキャパシティですし、多少の大声も大丈夫。みんな元気に走り回っています。

ベンチにはゆったりと酒を飲む人たち、前よりは少なくなりました。陽があるときには中国語が飛び交っています。近所の中国人か帰化したひとが集まってくるのです。

花は年中咲いています。いまは菊が満開で、皇帝ダリアも咲き始めました。台風が連続した

ため今年は数が少ない。和水仙も咲き始めました。花苗植え、種まき、木々の剪定と結構忙しく動き回っています。

診療所の患者さんも公園作業に参加し、大活躍です。

みなさん、吉浜町公園に来てください。

(川崎 正明)

“診療室から”(40)

町の変化と診療所

なんだかんだと、私が診療所で働いて18～9年になります。おもえば長きにわたってお世話になっております。診療所の「診察室」も随分変わったような気がします。その昔は元気な患者さんが多かった。患者さんなのにとっても元気な方が沢山いらした。その元気さもそれぞれ特徴的でしたが、中には「さわぐ、叫ぶ、暴れる、喧嘩する」と、町での状態をそのまま診療所に持ち込む方も多くいらっしゃいました。

時に女性の患者さんから「ねえ、マスター」と言われたり、けんかの仲裁をすると「おい、用心棒!」と言われたり、時には診察室で酒盛りを始めてしまう方などに出て行ってもらったりと、私の立場も色々変わったものでした。

あれから約ふたむかし。いまでも、診療所には「待合室での飲酒 厳禁です!!」という貼り紙があります。あいも変わらず個性的な患者さんはたくさんいらっしゃいますが、全体的に大人しくなってきたような気がします。ここならではの雰囲気は綿々と残っているのでしょうか。

そんな患者さんと町で会うことがあります。相変わらず管を巻いている方もいらっしゃいますが、治療を終え町で生活している方、地域のボランティアや介護ヘルパーなどになっている方、作業所で働く方などもいらっしゃいます。そのような方にお会いすると、なんだかほっとしたりします。

昨今の寿町も高齢化の波を受けています。住人の多くが年を取るとともに、その昔、労働や酒などで酷使した身体や内臓にもガタがきて、街には介護ステーションや訪問介護の事務所が増えています。

その昔は「ことぶき共同診療所」「寿町診療所」「訪問看護コスモス」くらいしかなかったこの町も、どんどん変化しています。

「ことぶき共同診療所」。

この町の患者さんと共に、怪しい雰囲気を醸し出しながら続いて行くのでしょうか。きっと。

(橋本 等)

寿町関係資料室コレクション

【5】子ども会ぼっこ『子ども会のあゆみ -寿町周辺簡易宿泊所街における活動の記録-』

(1966年4月2日、全86頁)

本冊子は「子ども会ぼっこ」の約2年間の活動記録である。田中藤枝さんも活動していた。おそらく当資料室以外では見ることができない貴重本である。

刊行された1966年4月は、寿町周辺一帯に簡易宿泊所街が完成した頃であるが、最初のドヤが営業を始めてすでに約10年が経過していた。横浜市全体の人口は地方の20～30代の単身者や有子世帯を吸引するかたちで増加し、大都市特有の過密と住宅難が起り、地方では過疎地域が広がっていった。55年の住宅公団設立以降大規模団地が造られていき民間による賃貸アパートや建売住宅も増えるが、60年代になっても住宅供給は需要に追いついていなかった(特に低所得者向け住宅)。港湾・建設・土木の業界や失業対策事業で働く労働者には日雇労働者がいた。こうした労働現場で働くためには、住は日雇労働市場に近い場所である必要もあり、こうしてドヤが急造され、寿町の人口は急増していった。

日雇労働求人を探して来横した人の中には、今とは違い、家族で移住してきた人も多く、一時期、1,000人以上の子ども達が家族と一緒にドヤで暮らしていたといわれている。寿生活館の調べでは、1969年時点で児童数(中学生以下)は505人であった(この頃には減少していた)。これだけの子ども達がいたのだが、かなりの期間、行政の対策はほとんど行われなかった。横浜市が社会福祉の観点から対策に乗り出すのは、1962年3月の中民生安定所の夜間出張相談からと遅く、1965年4月に寿生活館が常設され横浜市の相談員が配置されるまで続けられたが、臨時的であった。そもそも、児童数が把握されていなかった事自体、対策の遅れを表している。

1963年9月に、偶然か必然かは不明であるが、寿町に隣接する扇町に、横浜市民生局・教育委員会・神奈川県警察の3機関からなる横浜市青少年相談センター(2007年浦舟町に移転)が開設されたのは転機であった。当センターは寿町の子どものためだけの相談機関ではなかったが、「ぼっこ」や「ことぶき学級」が作られる母体となるからである。

翌年の1964年4月21日、センター、教育委員会、県青少年育成課などの職員の有志約10名が集まり、寿の子どものために何かできないかと、第1回準備会が開かれる。5月12日には町内会が野毛山動物園に招待するイベントがあり、準備会メンバー3名が参加している。その後、7月4日には第1回子ども会が開かれ、「ぼっこ」としての活動が本格化することになる。

本冊子は、活動内容が丁寧に記述されているのが大きな特徴で、編集委員会による「子ども会活動経過報告」「活動年表」は大変詳しい。岡田健三氏「発刊によせて」、子ども会の各グループ紹介(野球部、フォークダンス・うた、囲碁将棋、製作)、会員紹介と活動感想、寿町の地図などが掲載されている。また、寿町の特質や実態を探究する論文・調査報告もあり、寿生活館開設に深く関わり初代職員であった岩井清氏による「横浜における簡易宿泊所街についての諸考察」とドヤ研「寿町周辺の児童の余暇生活」が掲載されている。

この取り組みは、横浜市の若手職員が子ども達に何が出来るかを考え、職務を超えて動き、「ぼっこ」のメンバーとしてグループ活動のリーダーとなり、プログラムや課外活動を進めていった過程であった。その後、「ぼっこ」の活動は一つのうねりとなり実績となり、寿生活館業務に受け継がれていく。この受け継がれ方は、「寿的伝統」の一つとなっていったように思われてならない。(寿町関係資料室 松本 一郎)



職員自己紹介



勅使川原 香世子

(あだ名：日本ではてっしー、
フィリピンではカイカイ)

わたしとおじさんとの出会い：自己紹介にかえて

こんにちは。私は、週に1~2日、ことぶき共同診療所で看護師として勤務しております。それ以外は、大学非常勤講師やフィリピンでのフィールドワークなどを行っている者です。大学では平和学や国際化に関する科目を担当し、フィリピンでは中山間地域に住む人びとが直面する様々な人権侵害を克服すべく、現地の人びとと一緒に悩んだり、泣いたり、怒ったり、笑ったりしています。

自己紹介にかえて、私が路上生活を強いられた方々に出会ったきっかけについて少しお話ししたいと思います。

私は、寿に出会うより前の2003年から、山谷の医療相談会(月1回、しかも私は幽霊部員)に参加しています。友人の案内で初めて山谷を訪れた際に私の心を覆った後悔や罪悪感が、それ以降、私を山谷へ向かわせたのだと思います。救急病棟へ搬送された路上生活の患者さんがどんな困難をお持ちで、何がその方を路上へ追いやったのかなど、それまでの私は知ろうともしていませんでした。当然受けられるはずの公的サービスにつなげられることもなく、再度路上へと退院させられる患者さんの存在を知りながら、

私は何もしていませんでした。それを思い出し、後悔と罪悪感でいっぱいになったのです。

でも、虫の良い話ですが、罪悪感から生まれた「支えたい」「社会のありようを変えたい」といった気持ちに、あることをきっかけとして、「自分がほっとするから行きたい」という動機が加わりました。そのきっかけについて説明するには2晩くらいかかるのでここではお話ししませんが、久しぶりに参加した山谷の活動で、おじさんたちや周りに集まる支援者たちの変わらぬ温もりや笑顔に、ほっとしている自分がいたのです。居場所を探していたのは私も同じだったと実感した瞬間でした。それからです。不公正な世の中を変えたいとか、支えになりたいといった気持ちに、「みんなに会って元気になろう」という思いが加わったのです。「助けて」と言えずに苦しんでいた自分自身に気づけたことは、私の人生を大きく変えたように感じています。

寿で働いてみたいと思ったのも、感動からでした。中伝道所のことぶきワークに参加して、誰も排除しない、誰も見捨てない、すべてをありのまま受け入れる、そんな空間がここ寿にはあると、とても感動したのです。それから、中伝道所の三森さんを通して寿の皆さまに、大学生の受け入れもお願いしています。皆さまに、とても感謝しております。

とりとめもなく、長々と書いてしまいました。もう、この辺で終わりにします。誰もが「助けて」といえることぶき共同診療所、そして、この寿で働かせて頂けることをとても光栄に思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

寿町地域ニュース・あらかると (’17年6月~10月)

【国の貧困対策関係】<厚労省関係>生活困窮者自立支援及び生活保護部会第2-9回開催[6.8-10.31] / 新たな支え合い・分かち合いの仕組みの構築に向けた研究会第1-2回開催[7.10-9.12] / 生活保護基準部会第30-33回開催[7.26-10.12] / 年金受給資格を納付10年に短縮する改正年金機能強化法施行[8.1] / 地域力強化検討会最終とりまとめ公表[9.12] / 「ホームレスの実態に関する全国調査(生活実態調査)の調査結果(全体版)」公表[9.19] / <国交省関係>改正住宅セーフティネット法施行[10.25] 【センター(寿町総合労働福祉会館)】更地となり「盗賊たちのるなばあく」が開催され劇団水族館劇場も公演[8.3-9.17] / 整地が進み建設事務所プレハブが建つ[10月現在] 【簡易宿泊所】東アパート[3月]、エースヨコハマ[7月]がオープン / 大丸ビル解体中(建替新築予定) / 光屋アパート解体(寿福祉センター保育所仮設園建築予定) / 白樺荘建替新築中 / (仮称)扇荘4丁目簡易宿泊所新築中(元白雪荘・浜一ビル。扇町4-11-2) / (仮称)扇町4丁目簡易宿泊所建築予定の看板外れる(扇町4-12-2・12-3) [以上、10月現在] 【総菜】友苑の経営者がかわり「ダモア」になる[3月頃] ※ 寿町に関係する国・自治体の政策等も一部含まれます。また7月以前のものも一部含まれます。(寿町関係資料室 松本 一郎)

診療所日誌 '17年6月~11月

6月 デイケアメンバーはエグザイルになりました

- 8日~9日 松本から信濃むつみ高校の学生さん一泊二日で実習
 9日 畑をやっているIさん、収穫したジャガイモと自家製しそ味噌を持ってきてくれる
 14日 デイケアはLプラザの鏡張りの部屋でダンスの練習
 31日 部屋に引きこもっていたNさん6か月ぶりに受診。おしゃれにしていた髪は伸び放題で自慢の衣装もヨレヨレ。

7月 点滴の出足が早く、すでにベッドはいっぱい

- 4日 待合室に七夕の笹をかざる。願い事はたくさんあります
 5日 デイケア、横浜市防災センターへ
 患者Oさん、躁状態で喧嘩して足がパンパンに腫れ上がり…。ようやくT病院が受けてくれることになる。合併症のある方の精神科の入院は難しい。
 7日 こだわりが強く24時間付けていたKさんのコルセットがようやく外れる
 18日 夕、熱があると連絡のあったNさん、診療所についた途端に心肺停止、AED使用し市大へ救急搬送されるが亡くなられる。
 20日 「田中俊夫追悼文集」完成
 25日 カルテ7000番達成
 27日 職員へ結核の接触者検診行う

8月 夏休み、見学の方たちが今年もたくさんいらっしゃいます

- 6日 オープンダイアログ勉強会(於:YWCA)
 肺がん治療中の統合失調症の方、不安で部屋におれず、診療所で一日過ごすことが続く。
 16日 東京の自立支援施設の方見学
 18日 医学部の学生さん14名見学
 30日 鍼灸マッサージ学校の学生さん見学。
 夜、週刊金曜日の編集長と記者が8/18号の記事についての経緯説明等のため来る。

9月 入院多いです

- 1日 センター跡地の水族館劇場始まる

- 8日 亡くなられたIさんの娘さん見える。探していたお父さんは優しかった、と。
 9日~10日 デイケア、稲子でバーベキュー
 12日 南京虫貧血(?)のIさん退院。Hb3からの復活。引っ越しもする。
 13日 職員橋本さん復活
 14日 患者Kさんの葉っぱの絵を待合室に飾る。見に来てください。

10月 南京虫騒ぎはまだまだ続く

- 3日 3週間前から喉の痛かったUさん。胃カメラをしたらなんと部分入れ歯が喉に刺さっていた。
 12日 デイケアAさん、インシュリン導入に伴い、毎日デイケア参加に成功
 17日 デイケア防災訓練
 25日 Nさん、入院が決まるが南京虫だらけ。プラザでシャワーを借り、髪の毛を切り出発。
 26日 昨日に引き続き、南京虫さん登場。またまたプラザでシャワーを借り、乾燥機をかけお引越す。
 27日 「ことぶき共同診療所大運動会」開催。月末の為か賞品のカップラーメン目当てで積極的出場。が、転ぶ転ぶ。
 28日~29日 職員旅行(於:宇都宮)
 31日 公安に追われているという妄想のある方、Dr.鈴木を訪ねていくとよいといわれ診療所に現る。

11月 デイケアはクリスマス会の練習がんばっています

- 7日 越智医師の診療日が火・水に変更になりました(金曜日の診療はなくなります)。
 10日 吉浜町公園愛護会が表彰される(川崎さんと芝さん出席)
 29日 診療所内で落ち着かなくなってしまった方、自分を抑えられないからと110番通報希望。保護され、その後入院が決まる。
 30日 昨日から幻聴の命令のある方、夕方だったのでソフトをあたるが、警察対応にするよう言われ、110通報。2日間連続でお巡りさん来ました。

(矢島 雅子)

医療法人 ことぶき共同診療所・鍼灸院ガイド

◇診療科目 精神科 神経科 心療内科
内科 整形外科 鍼灸
診療所

	9時30分	12時	14時	17時	診療科目
月	休診				
火	鈴木伸・天田(第1・3・5)・渡部(第2・4)・越智		鈴木伸・天田(第1・3・5)・渡部(第2・4)・越智		精神科・神経科・心療内科・内科
水	土屋・熊倉・越智		土屋・越智		精神科・神経科・心療内科・内科
木	鈴木伸・大脇・土屋・三橋(第3)		鈴木伸・大脇・土屋・三橋(第3)		精神科・神経科・心療内科・内科・整形外科
金	鈴木伸・土屋		土屋・吉廣		精神科・神経科・心療内科・内科
土	鈴木伸・鈴木美奈子(月2回・エコー検査)・土屋(月1回)・野本(月1回)・熊倉(月1回)				精神科・神経科・心療内科・内科

※12-14時はお昼休み

鍼灸院 (鍼灸院は予約制のため、お電話等で確認の上、ご来院ください)

	9時30分	13時	14時	17時
火	新井・鈴木		新井	
水	新井・富永		新井・富永	
木	新井		新井	
金	新井		新井	

※13-14時はお昼休み

○**保険扱い**

国民健康保険 各種社会保険 生活保護 障害者総合支援法 (その他、医療福祉相談も受け付けています)

○**心理判定**

○**寿町関係資料室**

寿町にまつわる資料収集、調査研究を行う「資料室」を併設しています。

◇**所在地**

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17
リバーハイツ石川町 1・2F

◇**でんわとファックス**

(045) **651-2305** (診療所)
(045) **305-4322** (鍼灸院)

◇**e-mail** info@kyoudouclinic.com

◇**ホームページ**

<http://kyoudouclinic.com>

2017年12月24日現在